

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	公民館管理費							担当課	部課名	生涯学習部明治公民館						
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	02	細目	001	説明	01	課等の長	川口 剛	電話	6271

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務					
事業概要	公民館の円滑な運営・管理のための施設等の維持管理。											
対象	1. 個人	市民					429,317	人				
根拠法令等	法律等	社会教育法, 地方教育行政の組織及び運営に関する法律, 藤沢市公民館条例										
事業実施内容	適切な施設・設備等の管理を行い, 利用しやすい環境を整えた。											
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()											

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	42 千円	印刷機用消耗品
		使用料及び賃借料	520 千円	電子複写機及び印刷機賃借
562 千円				
財源内訳	H30年度 支出済額	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	562 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
562 千円				
		一般財源		

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.05
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.05

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
コスト	支出	行政費用 A	1,274	1,043	1,013	1,038
		(1)現金を伴う支出 (千円)	1,104	1,044	1,026	1,043
		事業費(支出済額-②報酬合計)	627	562	543	562
		償還金利子	0	0	0	0
		人件費合計(①+②+③)	477	482	483	481
		職員数(常勤 非常勤)	0.05 0.00	0.05 0.00	0.05 0.00	0.05 0.00
		参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
		①職員給与合計(常勤)	452	455	461	458
		②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
		③退職金相当額	25	27	22	23
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	170	-1	-13	-5
		①減価償却費	0	0	0	0
		②退職給与引当金繰入額	170	-1	-13	-5
		③不納欠損額	0	0	0	0
		④その他()	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		3.03 420,619	2.45 425,105	2.37 427,501	2.42 429,317	

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		施設等の維持・管理を目的とした事務事業のため、指標の設定はできない。							
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-	-	-	-	-	-	-	-

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	特になし
(2) (1)解決のための今後の取組	

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	印刷機や複写機を設置することで，公民館の円滑な運営・管理をすることができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	複写機については，令和元年度からは複合機へ統合されるが，今後も印刷機の設置など，引き続き円滑な運営・管理ができるよう，取り組んでいく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
20	公民館使用申請に関すること	無	無	1	
21	公民館使用料に関すること	無	無	1	
22	公民館使用取消申請に関すること	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	公民館運営業務費										担当課	部課名	生涯学習部明治公民館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	02	細目	003	説明	01	課等の長	川口 剛	電話	6271

1. 事業概要

事業開始年度	平成 23 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	社会教育事業の企画実施等, 公民館運営を行う。				
対象	1. 個人	市民			429,317 人
根拠法令等	法律等	社会教育法, 地方教育行政の組織及び運営に関する法律, 藤沢市公民館条例			
事業実施内容	地域住民の生活文化の振興及び教養の向上を図るとともに, 市民の自主的な学習文化活動を支援し, 生涯学習を推進するため, 次の事業を実施した。 ・各種学級・講座等事業の実施 ・公民館まつりの開催				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 明治地区ふるさとまつり実行委員会, 子ども夏まつり実行委員会) (委託等内容 : 公民館まつり, 子ども夏まつり) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 1,684 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報償費	954 千円	各種講座・講習等の事業の開催
		需用費	254 千円	公民館用事務消耗品
		役務費	36 千円	ピアノ調律
		委託料	367 千円	公民館まつり
財源内訳	H30年度 支出済額 1,684 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
一般財源	1,684 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.74
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.74

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト 支出	行政費用 A	11,195	9,011	8,536	8,735			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	8,676	9,035	8,722	8,815			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	1,611	1,897	1,569	1,684			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	7,065	7,138	7,153	7,131			
	職員数(常勤 非常勤)	0.74 0.00	0.74 0.00	0.74 0.00	0.74 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	6,690	6,735	6,822	6,784			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	375	403	331	347			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	2,519	-24	-186	-80			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	2,519	-24	-186	-80			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	26.62	420,619	21.20	425,105	19.97	427,501	20.35	429,317

成果実績	指標名	公民館事業参加者数	目標	16,912	単位	19,084	単位	19,339	単位	19497	単位
			実績	20,391	単位	21,274	単位	15,623	単位	18443	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				549.02		423.57		546.37		473.62	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	さまざまな分野で幅広い層を対象に講座を開催，学習の場の提供を行っているが，参加する層の大半が高齢者であり，勤労者の参加がほとんどないのが現状である。
(2) (1)解決のための今後の取組	さまざまな分野の学習提供を行うに際し，市民の多様なニーズをどのように把握していくかを，多数の市民参加を得ることで，学習活動の充実を図る必要がある。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	課題は多く存在するが，さまざまな分野の学習提供及び自主的な活動の場の提供を着実にを行い，市民の多様な学習要望に応えるとともに，少数でも市民の参加を得ることで，学習活動の支援・促進を図ることができている。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	「藤沢型地域包括ケアシステム」や「頼りになる拠点づくり」等，地域が今後担う役割を検討していく中で，「地域人材を育成するための学習機会の提供」や「地域コーディネーターの発掘・養成」が今まで以上に必要になることから，地域の課題を把握し，それを解決するための一助となる事業を行っていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
23	公民館事業の企画及び実施に関すること	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------